

令和4年度 第2回 名桜大学研究倫理審査委員会 議事要旨

1. 日 時：令和4年5月20日（金）16:30-17:40
2. 場 所：総合研究所 研修会議室
3. 出席者：鈴木啓子委員長、林優子副学長、仲尾次洋子学群長、奥本正学部長、
嘉納英明国際文化研究科長、永田美和子看護学研究科長、
赤嶺守国際文化研究科長、グレッグ美鈴看護学研究科長、
小嶋洋輔研究所長（Teams）、山城耕政事務局長、
矢野恵美外部審査委員（国立大学法人琉球大学法科大学院 教授）（Teams）、
満名悦子沖縄県北部地区民生委員児童委員協議会会長
4. 欠席者 なし
5. 陪 席 荻堂盛淳総務企画部長、仲榮真修地域連携研究推進課長
窪田誠志地域連携研究推進課係員、比嘉真恵美地域連携研究推進課係員
6. 議事

議事に先立ち、鈴木委員長より定足数の確認があり、開会宣言があった。

【報告事項】 議事要旨

(1) 迅速審査の結果について（5月本委員会開催日現在）

- ・5月本委員会開催日現在での迅速研究倫理審査の結果について報告がなされた。

受付番号	研究課題	申請者 (代表者名)	提出日	1回目 審査日	1回目 審査結果	結果 通知日	部 会	備考
2022-004	コロナ禍におけるファットランゲージ、フレームワークを用いた高齢者看護学内実習の学習効果の検討	安仁屋 優子	2022/4/27	2022/5/9	承認	2022/5/12	学部	2021-007-1-1
2022-008	「巡礼ツーリズム」から捉える持続可能な地域振興のあり方に関する実証的研究	卯田 卓矢	2022/5/6	2022/5/12	承認	2022/5/17	学群	2021-039-1

(2) 4月研究倫理審査部会における通常審査状況について

- ・4月20日（水）実施の研究倫理審査部会における通常審査状況及び結果について報告がなされた。
学群・リベラルアーツ機構研究倫理審査部会

種別	受付番号	研究課題	申請者 (代表者名)	提出日	1回目 審査日	1回目 審査結果	結果 通知日	再申請 提出日	2回目 審査日	2回目 審査結果	承認月日	方法	備考
新規	2022-002	大学生のビッグファイブ因子とグリッド力について	中里 取	令和4年 4月6日	令和4年 4月20日	条件付 承認	令和4年 5月6日	-	-	-	-	通常審査	
新規	2022-003	教師の日本人ステレオタイプに基づく好意的発言が英語学習者に及ぼす影響	木村 堅一	令和4年 4月6日	令和4年 4月20日	但書き付 承認	令和4年 5月6日	令和4年 5月16日	-	-	-	①通常審査 ②待回審査	2022-003-1

(3) 5月研究倫理審査部会への申請および審査状況について

- ・5月18日（水）実施の研究倫理審査部会における通常審査対象の研究課題5件について報告があった。

①学群・リベラルアーツ機構研究倫理審査部会

種別	受付番号	研究課題	申請者 (代表者名)	提出日	1回目 審査日	1回目 審査結果	再申請 受付月日	2回目 審査日	2回目 審査結果	承認月日	結果 通知日	方法	備考
新規	2022-007	言語文化的多様性と言語権からみたニュースピーカーのためのことばの継承アプローチ	半嶺 まどか	令和4年 5月6日	令和4年 5月18日	-	-	-	-	-	-	通常審査	

②学部研究倫理審査部会

種別	受付番号	研究課題	申請者 (代表者名)	提出日	1回目 審査日	1回目 審査結果	再申請 受付月日	2回目 審査日	2回目 審査結果	承認月日	結果 通知日	方法	備考
迅速	2022-005	高齢者における敏捷性トレーニングが運動・移動能力に与える影響	東恩納 玲代	令和4年 5月2日	令和4年 5月18日	-	-	-	-	-	-	通常審査	
新規	2022-006	大学生ウインドサーファーの活動環境の認知および活動継続意欲	平野 貴也	令和4年 5月6日	令和4年 5月18日	-	-	-	-	-	-	通常審査	
新規	2022-009	へき地の「8050」世帯の思いに関する調査	田場 真由美	令和4年 5月6日	令和4年 5月18日	-	-	-	-	-	-	通常審査	
新規	2022-010	ベビーマッサージが若年母親と児の心身に及ぼす影響	大浦 早智	令和4年 5月6日	令和4年 5月18日	-	-	-	-	-	-	通常審査	

(4) 令和3年度 研究実施状況報告書等の提出状況について

・研究実施状況報告書、研究等終了（中止）報告書の提出状況が報告された。研究実施報告書提出18件、研究終了（中止）報告書提出3件であった。未提出者については再度連絡をしている。

【審議事項】

(1) 大学院生の研究実施状況報告書等の提出について

・大学院生の研究実施状況報告書、研究終了（中止）報告書を本委員会に提出することについて、審議の結果、適切であると承認された。また、大学院生用の当該報告書書式については、審議を継続していくことが確認された。

(2) 学群、学部所属学生の研究倫理審査委員会への倫理審査申請について

・学会発表や論文発表の必要性がある学生の研究倫理審査委員会への倫理審査申請について、審議の結果、承認された。また手続きについては、今後明文化して共有していくことが確認された。

【依頼事項】

(1) 各学群/学部/研究科における倫理審査体制および手続きの確認について

・各組織の研究倫理審査体制および手続きの確認（審査のプロセス）を本委員会にておこなうため、当該資料を作成するよう委員長より再度依頼があった。